館林市立保育園民営化事業者選定等委員委嘱状交付式及び
令和6年度第1回館林市立保育園民営化事業者選定等委員会
次 第

日 時 令和6年5月27日（月）
午後4時～午後5時15分
場 所 市役所5階504会議室

- 1 開 会
- 2 委嘱状交付
- 3 あいさつ
- 4 自己紹介
- 5 委員長・副委員長の選出
- 6 議 事
 - (1) 館林市立保育園民営化事業者選定等委員会について【資料1, 2】
 - (2) 館林市の保育園・幼稚園・認定こども園の現況について【資料3】
 - (3) 今後のスケジュールについて【資料4】
 - (4) 館林市保育園民営化事業者募集要項（案）について
 - (5) その他
- 7 閉 会

第1回

館林市立保育園民営化事業者選定等委員会の概要

1 実施内容

(1)委嘱状交付式

別紙1 1名の委員へ多田市長より、委嘱状を交付

(2)委員長、副委員長の選出

森 静子委員を委員長、曾根 勝委員を副委員長に選出

(3)主な議事

①館林市立保育園事業者選定等委員会

- ・渡瀬保育園及び成島保育園の民営化を進めるため、主に以下の項目について調査・審議していただく目的で、本市の附属機関として設置
 - (ア) 民営化事業者の募集要項の作成に関すること
 - (イ) 民営化事業者の選定に関すること
- ・委員会の内容については、基本的に守秘義務がある

②これまでの経緯

- ・平成20年11月：館林市立保育園民営化検討委員会より、市長へ提言書あり
「地域の保育ニーズに一層応えるため、民営化を進めることが望ましい」等の内容
- ・令和2年3月：第七次行政改革大綱に「公立保育園の認定こども園化及び民営化の推進」等を記載
- ・令和3年8月：公立幼稚園・保育園 就学前の教育・保育の在り方に関する方針に、令和8年度以降に渡瀬保育園、成島保育園の民営化を決定
- ・令和5年12月：市議会へ令和8年度より渡瀬保育園、成島保育園を民営化することを報告

③近隣自治体との公私立園の状況比較

- ・館林市は20園のうち12園が公立園（＝60％）であり、近隣自治体に比べ、

館林市の公立園はとても多い状況である

<参考>太田市の公立園数は全園数の2%であるほか、

大泉町・桐生市・佐野市・足利市は15%～25%程度の公立園数

④ 民営化を進める理由

- ・平成20年度の「館林市立保育園民営化検討委員会からの答申書」及び令和2年度の「館林私立保育園連絡会からの要望書」に、民営化を進めることや民間活力を生かした運営を行ってほしい旨の記載があるため、その要望等に応えたいため。
- ・公立園にはない、特色ある教育・保育を実施している私立園を増やすことで、保護者の選択肢を増やしたいため。
- ・公立園で実施していない特別保育や特色ある保育等が行われる可能性があり、保育サービスの向上が期待できるため。
- ・公立園の保育士等の確保も困難になっており、私立園にすることで、公立保育士等を再配置できるため。

⑤ 民営化の考え方

- ・渡瀬保育園及び成島保育園の保育を引継ぎながら、徐々に私立園の特色を加えた保育を実施するよう、法人へ依頼する。
- ・保育料、開園時間は変更なし。延長保育も引き続き実施。
- ・現在の持ち物を引き続き使用できるよう、法人へ依頼する。私立園としての特色を出すために新たな費用が生じる場合には、保護者の理解を得るよう、法人へ依頼する。
- ・民営化後も、運営指導等で市が関わる。
- ・民営化を理由に転園を希望される場合には、出来る限り対応する。

⑥ 今後の主なスケジュール（予定）

- ・令和6年6月25日（火）：第2回委員会（成島保育園、渡瀬保育園 見学会）
- ・令和6年12月：委員会で調査・審議した内容の提言書をいただく
- ・令和6年12月議会：市議会へ委員会からの提言書を踏まえた内容報告
- ・令和7年4月：民営化事業者プレゼンテーション、事業者決定
- ・令和8年4月：渡瀬保育園、成島保育園の民営化

(4)委員からの主な感想・意見等

- ・ 民営化がスムーズに進み、子ども、保護者、職員にとって、プラスになるようなルール作りと業者選定ができればと思っている。
- ・ 対象となる法人の数や範囲を把握していないので、徐々に解決していきたい。
- ・ 働く職員のモラルが向上するような民営化でなくてはならないと考えている。
- ・ 民営化が子どもにとって良かったと言われるようにしていきたい。
- ・ これまでずっと民営化や、こども、職員について、話し合いをしてきたため、非常に感慨深い想いで本日を迎えている。
- ・ 全公立園が全て私立園になると思っていたため、2園のみと聞いて安心した。前回の民営化は良かったと聞いているので、民営化を楽しみにしている。
- ・ 子ども、保護者、勤務している職員という3つの視点を大事にしていきたい。
- ・ 渡瀬保育園は、地域との関わりがとても深いため、今後も引き継いでいければ、子どもや保護者は安心すると考えている。
- ・ 現状だけでなく、今後も見据えた社会環境を保護者や子どもたちに残していくという重要な役割を担ったと感じている。
- ・ 渡瀬地区唯一の保育園が私立園になってしまうことにお母さんたちは不安を感じている。民営化に反対ではないが、できるだけ保護者の不安感を解消してほしい。
- ・ 民営化するにあたり、現在働いている先生が残ってくれるのであれば、大変安心である。
- ・ 金銭的な負担が増えるのかどうか、保護者が大変気になる点と考えている。

担当：こども課幼保支援係 飯塚、鈴木

電話：47-5172（直通）

Mail：kodomo@city.tatebayashi.gunma.jp